

2020年12月期 JPMCグループ決算補足説明資料

2020年の概況

- ▶ **ストック収入が業績を牽引 創業以来19期連続増収を達成**
- ▶ **運用戸数が順調に増加
前期末比で10,468戸(+12.4%)の純増 期末運用戸数94,798戸**
- ▶ **運用戸数の順調な増加により
ストック収入が前年比で9.2%成長**
- ▶ **コロナ禍によりヒトの動きが制限
新規で受託した物件の収益化のスピードが鈍化**

株主還元

- ▶ **2020年12月期の期末配当は、公表予想通り21円 配当性向68.5%**

連結決算ハイライト

(百万円)	2019年度	2020年度	前年差	前年比 (%)	通期計画 進捗率
売上高	43,302	47,202	3,900	+9.0%	47,000 100.4%
営業利益	2,202	2,063	△139	△6.3%	2,010 102.7%
経常利益	2,213	2,063	△149	△6.7%	2,010 102.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,506	1,080	△425	△28.2%	1,340 80.7%
1株当たり当期純利益 (円)	84.49	61.32	△23.17	△27.4%	

- ✓ ストック収益が順調に推移し、売上高は通期計画を達成
- ✓ コロナ禍でヒトの動きが制限される 結果、新規で受託した物件の収益化のスピードが鈍化
- ✓ 投資有価証券評価損443百万円を特別損失で計上

※通期計画は2020年11月27日に業績予想の修正を公表しています

(百万円)	2020年度	2021年度 (予想)	増加額	増加率 (%)
売上高	47,202	52,000	+4,798	+10.2%
営業利益	2,063	2,300	+237	+11.4%
経常利益	2,063	2,300	+237	+11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,080	1,565	+485	+44.8%
1株当たり当期純利益 (円)	61.32	88.70	+27.38	+44.7%

✓ コロナ禍による影響は今期も続くと想定

- 空室リスクへの不安から一括借上へのニーズは高まり売上高は順調に増加と見込む
- ヒトの移動の制限が続く想定 新規の受託物件の収益化のスピードが鈍化傾向

KPI

	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)	増減数	増加率 (%)
運用戸数 (期末)	84,330	94,798	105,000	+10,202	+10.8%
申込戸数	14,405	14,648	18,000	+3,352	+22.9%

※「申込戸数」は受託契約を行った戸数を指し、その後引渡しを受けたものが「運用戸数」となります

- ✓ 運用戸数は2021年内の10万戸の達成を視野に
- ✓ 申込戸数は20年12月期比22.9%増の18,000戸（過去最高）を目指す

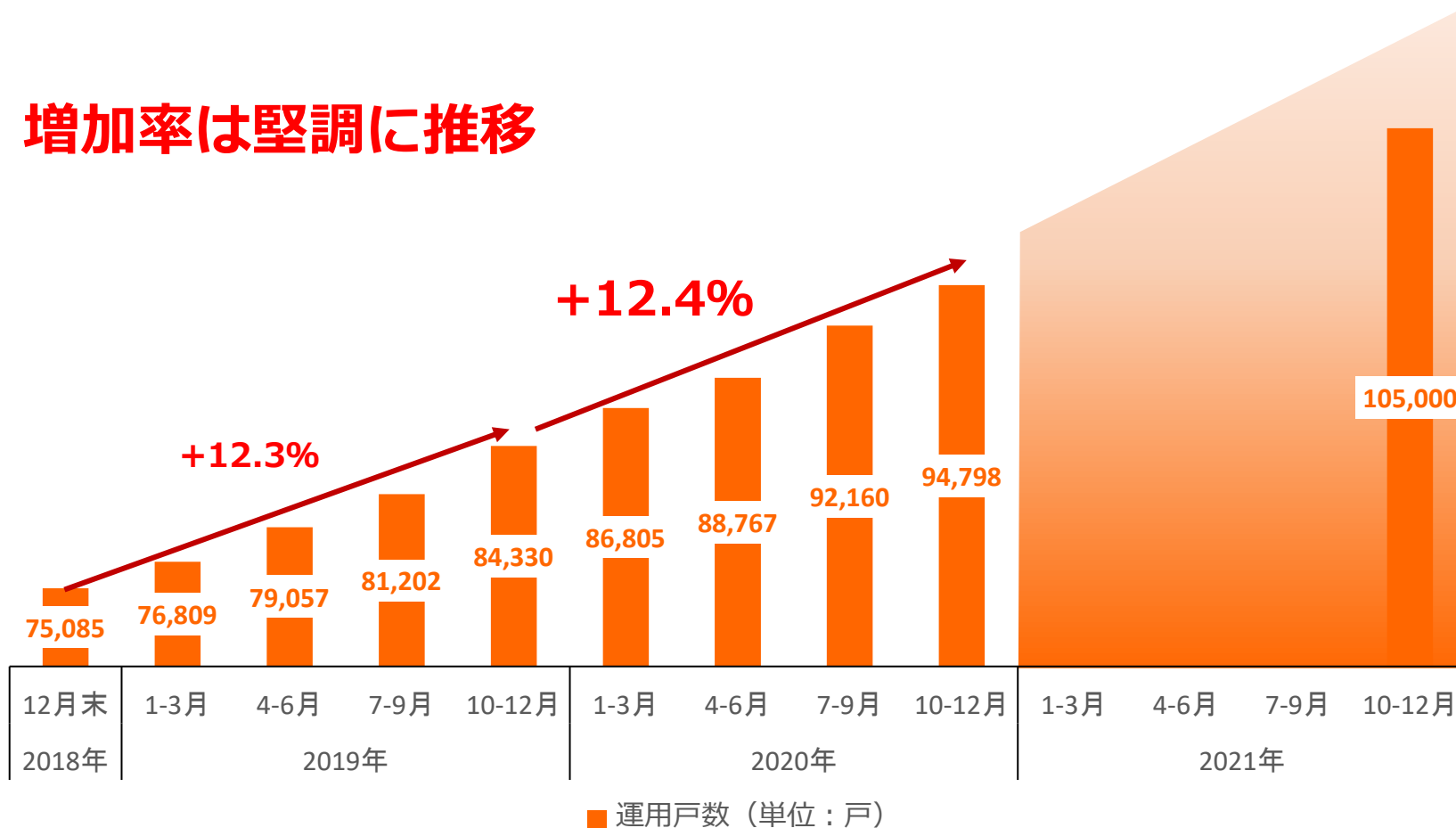
注力するストック収入をさらに強化

(百万円)	2019年度	2020年度	2021年度 (予想)	増減額	増加率 (%)	
不動産収入	40,922	44,638	48,441	+3,803	+8.5%] ストック
不動産付帯事業収入	1,861	2,102	2,339	+237	+11.3%	
滞納保証	424	533	615	+82	+15.4%	
保険事業	1,078	1,209	1,361	+152	+12.6%	
JPMCヒカリ	358	359	363	+4	+1.1%	
その他の収入	518	462	1,220	+758	+164.1%] フロー
売上高	43,302	47,202	52,000	+4,798	+10.2%	

- ✓ 注力するストック収入の成長を更に加速させ、ストック収益で8.6%成長を見込む
- ✓ その他の収入(フロー)の増加要因はリフォーム事業の売上増を見込む

運用戸数は順調に拡大

増加率は堅調に推移



- ✓ 運用戸数は2020年で10,468戸の純増と順調に増加
- ✓ 2021年の100,000戸の達成も視野に入れる



1. 免責

当社は、本資料に掲載する情報に関しましては、細心の注意を払っております。しかしながら、その正確性、信頼性、安全性等についての保証はいたしかねます。また当社は、将来の予測等に関する情報をご提供する場合がありますが、これらの情報はある時点における当社予測であり、不確実なものであることをご認識下さい。

2. 著作権等

この資料で提供される全ての情報は、著作権法およびその他の法律により保護されています。無断での引用や転載、複製は禁じられております。